
母ちゃんが死んじゃった

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

母ちゃんが死んじゃった

【Nコード】

N9260H

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

ジョンレノンの曲を題名にしました。

ジョンレノンの曲マイマミーズデッドを訳すと、母ちゃん死んじやった。

なるうで、ある短編を読んで浮かびました。

「うう」

たけしはどうにもならない。母ちゃんが死んじやった。買い物の中で、自爆テロに巻き込まれたのだ。葬式でねいちゃんが号泣してる。

「うわ。うわ。うわああああん。母ちゃああああん」

なにしろ、うちは母子家庭。母ちゃんがいなくなつて、家族は僕とねいちゃんだけになつてしまう。

「うう」

泣きたいが我慢するしかない。男だもの。泣いてたらかつこ悪い。母ちゃんはいつもニコニコしていた。

僕が同級生の女子を体育館倉庫に呼び出して強姦し、警察に捕まった時も。

「あははは。刑事さん。元気でいいですかい。今は草食系男子というんですか？風俗に行つても風俗嬢とおしゃべりだけして帰るというね。それに比べてうちの息子は大したものですよ。少子化の今、貴重ですよ。うははははは」

また、僕がバイクの鍵を壊し、盗んで走り飛ばし、おばあさんをはね殺した時も。

「あはつ。大したもんやねえ。小学生やのにバイク運転できるなんて。さすがわたいの息子や。だいたい、今、高齢化だから、年寄りが一人死んで万歳ですよ。わきやきやきやきや」

かばつてもらつてる僕も苦笑い。刑事さんは変な汗をかいていた。

病院に電話していた。

ああ。あんなこともあった。僕が、覚醒（ぴー！ぴー！）剤をやって捕まった時。

「うほほほ。普通、タバコやる。お前はロックスターか。わはははは。おもしろい。しかも、海苔ぴーの一週間後に逮捕されてるのが実に愉快。頭わるっ。うきやきやきやきや」

うう。母ちゃん。母ちゃん。

僕が、テストで百点とった時。

「お前、バカか。学校の問題ちゅうのは満点とれんようにできとるんだぜ。生徒に勉強させるように。出題者のことも考えるよバカ！それに今回お前が本気出しゃがったせいで誰かの順位が下がるんだぞ。その子のことを考えたことがあるのか。お前、バカ。ほんとバカだよ！」

しかることだつてあった。

「でもそんなあんたが母ちゃんは大好きだよ」
抱き締めてくれた。

「うわああああああああん」

僕はトイレの中で鼻水をだあだあに垂らし、ずつとずつと泣いていた。

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9260h/>

母ちゃんが死んじゃった

2010年11月13日14時34分発行